

新型コロナウイルスから

命と暮らしを守る区政に

日本共産党

東京都 北区議員団

2月24日から3月23日まで開かれた北区議会第1回定例会で、日本共産党北区議員団は新型コロナから区民の命と暮らしを守る施策を提案。PCR検査の一斉・定期的検査の実施など、切実な要望の実現に道を開きました。

区民の声で実現！

- ✓ 介護施設等の職員に **週1回の一斉・定期的PCR検査**
- ✓ **保健所・くらしと相談センター**体制拡充
- ✓ 必要な女性に **生理用品を無料配布**

やっと検査が
受けられるよう
になりました。



ワクチン接種は PCR検査と並行して さがら として議員

新型コロナワクチン接種について、安定的供給や科学的根拠に基づく説明・周知、副作用対策など医療機関との連携強化を要請。新型コロナは、無症状陽性者からの感染が特徴だけに、PCR検査の大規模実施、変異株への対策強化を求めました。また、後期高齢者への医療費窓口負担2倍化や、都立・公立病院の独立行政法人化に反対するよう、区長に強く求めました。

医療・暮らし・営業を支える さらなる施策の拡充を

党区議団は、新社会党所属議員とともに、新年度予算に対する組み替え動議を提出（右参照）。一般会計で約8億円を医療・介護や暮らし、営業への支援に充てるよう提案しました。採決では、自民・公明などの反対で否決されましたが、引き続き提案の実現に全力で取り組んでいきます。



財源には、財政調整基金を活用。毎年の積み立てで、昨年度末には、182億円にまで達しています。

共産党と
新社会党の

予算組み替え案

8億円余の予算を組み替えれば、これだけのことが実現できます。



医療・介護への支援 1億5000万円

- ・ワクチン接種協力病院への補助を増額
- ・介護従事者へ緊急手当を支給

営業への支援 1億円

- ・中小事業者へ区独自の支援金を支給
- ・プレミアム付区内共通商品券の追加発行

暮らしへの支援 5億6100万円

- ・ひとり親家庭へ臨時特別給付金を支給
- ・小中学校給食費は1人目から半額に
- ・国保料の子ども均等割軽減を前倒し
- ・高校、大学などへの入学準備支援金支給

緊急財源対策の見直し 1200万円

- ・コミュニティソーシャルワーカー、スクールソーシャルワーカーを予定通り増員配置

介護保険料の引き下げ 3400万円

えっ！
どうして？



自民・公明などの反対で 住民の陳情が 不採択に

消費税減税

核兵器禁止条約

少人数学級

今議会には区民から、消費税を緊急に5%に引き下げを求める陳情、核兵器禁止条約の批准と日本の参加を求める陳情、小・中学校での少人数学級の早期実現を求める陳情が提出されました。どれも切実な住民要望であるにもかかわらず、採決では自民・公明などの反対でいずれも不採択に。日本共産党は、すべて採択を主張しました。

予算特別委員会 での質疑から

新型コロナの影響で、通常7日間を5日間に短縮して行われた予算特別委員会。日本共産党北区議員団は、区の姿勢を質すとともに、区民の切実な声を取り上げ、実現のための提案を重ねてきました。



公園

指定管理者制度 導入に「待った」

区は、新たに策定した公園総合整備構想で、区内の公園・児童遊園の管理・運営を民間事業者に委ねる指定管理者制度の導入や、営利目的の施設を誘致するPark-PFIを提案。党区議団は、官製ワーキングプアを広げ、区民の憩いの場を儲けの対象とする方針に反対しました。

行革

値上げ・サービス 削減やめよ

コロナ禍で区民の暮らしに大きな影響が出る中、区は「経営改革プラン」に基づき、一部施設使用料を値上げし、喜寿の敬老祝品を廃止しました。党区議団は、値上げやサービス削減を見直すとともに、低所得者へのエアコン設置助成、補聴器の購入補助の実現を強く求めました。

福祉

特別障害者手当 広くお知らせを

特別障害者手当は、重度障害や常時介護が必要とされる方などへ月額2万7350円が支給される国の制度ですが、障害手帳がなくても申請できることは、あまり知られていません。高齢者あんしんセンターなどとも連携を図り、活用できる人へ、ていねいに周知することを求めました。



コミュニティバス 新規路線に住民の声を ながい ともこ議員

来年度、浮間地域で試験運行となるコミュニティバス新規路線。ルートや停留所の位置などを決定する際に、地元住民の声を反映するよう求め、区は、「関係する地域のみなさまから必要に応じて意見を伺う」と答えました。また、収支率をもって運行継続・廃止を判断する考え方を抜本的に見直すよう求めました。

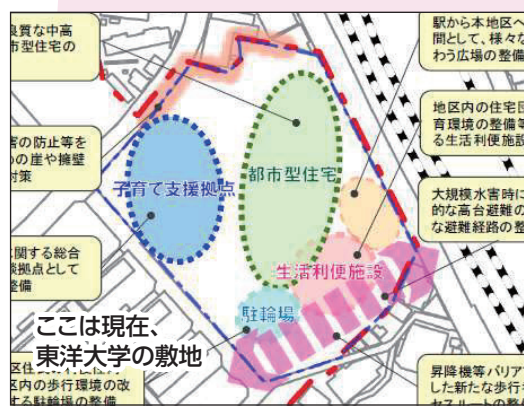


改築中の神谷中学校 北運動場の裏門開放を 野口 まさと議員

神谷中学校では、(仮称)都の北学園の建築が居ながら工事で始まっていますが、体育の授業等で使う北運動場へ行くのに、北側の正門まで大きく迂回しなければなりません。校門からすぐの、閉鎖されていた運動場裏門を開放するよう求め、新年度からは、この門からの出入りが可能となりました。

民間企業と一体に 高層マンション呼び込む まちづくりでよいのか

北区は、100mを大きく超えるタワーマンションを建設する十条駅西口と赤羽駅東口の市街地再開発に加え、赤羽駅の西側でも、約300戸の高層マンションを誘致する開発計画を明らかにしました。計画は、旧赤羽台東小学校跡地の約半分と、URの敷地を合わせた約1.4ヘクタールを共同で民間に売却するもの。民間企業と一体に、高層マンションばかりを呼び込むまちづくりでよいのでしょうか。



旧赤羽台東小跡地の西側には、北区初の児童相談所と、子ども家庭支援センターなど子育て複合施設の建設が計画されています。北区が示したイメージ(左図)では、大型マンションによる子育て支援施設への圧迫が懸念されます。

困りごとがあれば、ためらわず相談を

日本共産党北区議員団 北区役所控室
TEL 3908-7144 FAX 5993-0280



宇都宮 章
神谷3-10-8-401
090-4127-7550



さがらとしこ
赤羽北3-23-17
3905-0970(事務所)



せいの 恵子
滝野川3-56-7
070-3531-0812



ながいともこ
浮間3-1-54-302
080-4429-6338



野口 まさと
東十条5-16-10
070-5658-0603



のの山 けん
岩淵町22-31-401
090-2156-3510



福島 宏紀
豊島5-4-1-615
090-1206-6925



本田 正則
田端3-4-12-305
090-9240-8066



山崎 たい子
豊島7-19-10
090-2160-1292